

市民意識調査報告書

平成21年7月

掛川市 企画調整課

目 次

第1章 市民意識調査の概要	2
第2章 集計結果	3
1. 基本的事項	
2. 政策の実施効果	
3. 政策に対する満足度と優先度	
(1) 満足度と優先度の分析結果(ポートフォリオ分析)	
(2) 象限(ゾーン)別の経年変化	
(3) 満足度の経年変化	
(4) 優先度の経年変化	
第3章 自由回答結果	23

第 1 章 市民意識調査の概要

1．調査目的

地方分権時代に求められるのは、国策に従い事業を実施するだけの事業自治体から、自己決定・自己責任により、最少の経費で最大の効果を上げる政策自治体への転換である。

このことから、本市ではこれまでの総花的・網羅的な事業展開から顧客（市民）志向に基づく重点的・戦略的な事業展開を行う成果志向型行政経営に取り組んでいる。

この市民意識調査は、その取り組みの一環として、適切に施策・事務事業の軌道修正や新規立案を行うため、複雑・多様化する市民ニーズを的確に捉えることを目的として実施するものである。

また、第 1 次総合計画においては、計画の成果目標を具体的な数値で掲げてある。この目標達成度も併せて、この市民意識調査にて測定するものである。

2．調査対象

(1) 調査対象

市内在住の 20 歳以上の全ての市民の中から 2,000 人の方々を抽出し、男女比率を 1 対 1 とし、年齢階層ごとに均等に抽出した。

(2) 配布数

2,000 枚を配布した

3．調査期間と調査方法

(1) 調査期間

平成 21 年 5 月 19 日～平成 21 年 6 月 5 日

(2) 調査方法

郵送により発送・回収した

4．回収状況

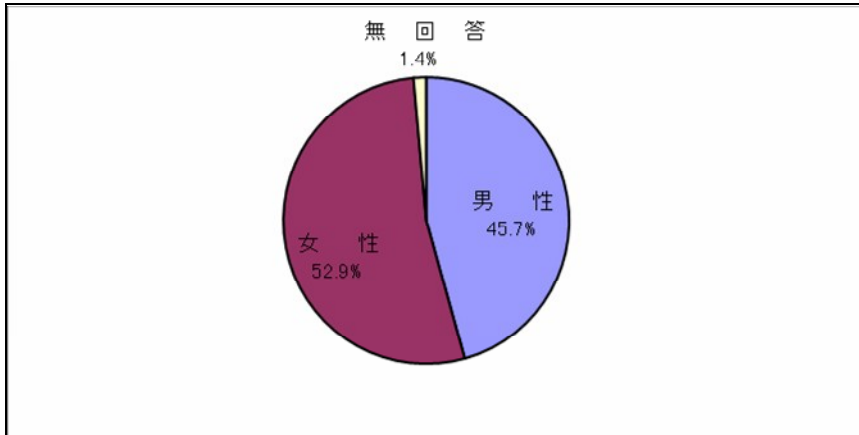
913 枚回収（回収率 45.7%）

第 2 章 集計結果

1. 基本的事項

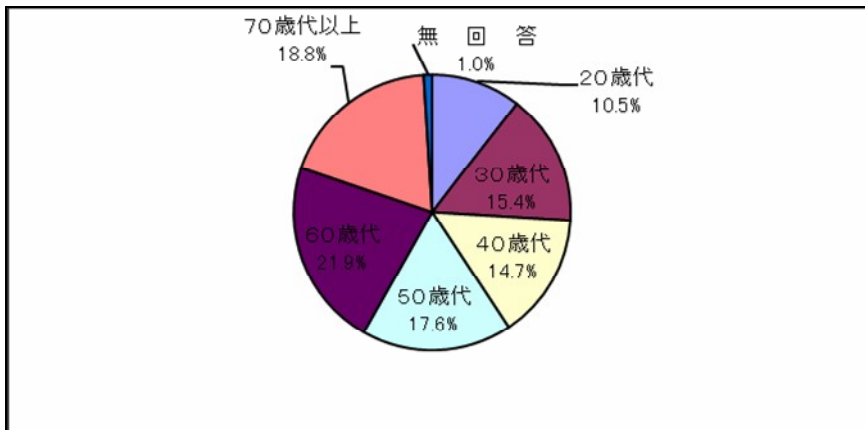
(1) 性別(問1)

回答者の性別は、「男性」45.7%、「女性」52.9%と「女性」の割合が「男性」を上回り、市政やまちづくりに対して「女性」の関心が高いことがうかがえた。



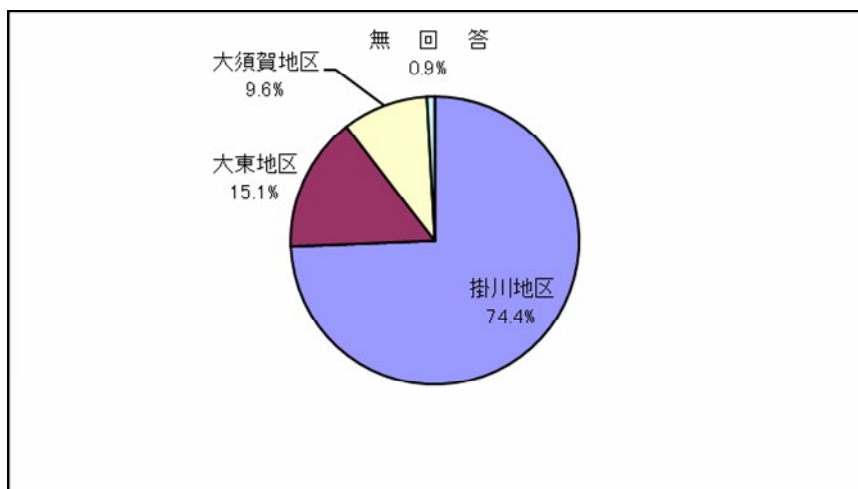
(2) 年齢(問2)

回答者の年齢は、「20歳代」10.5%、「30歳代」15.4%と、若年層の回答割合が約3割、「40歳代」14.7%、「50歳代」17.6%と回答割合は約3割となった。一方、「60歳代」21.9%、「70歳代以上」18.8%と回答は約4割となり高年層の意向が多少強く反映されていることがうかがえた。



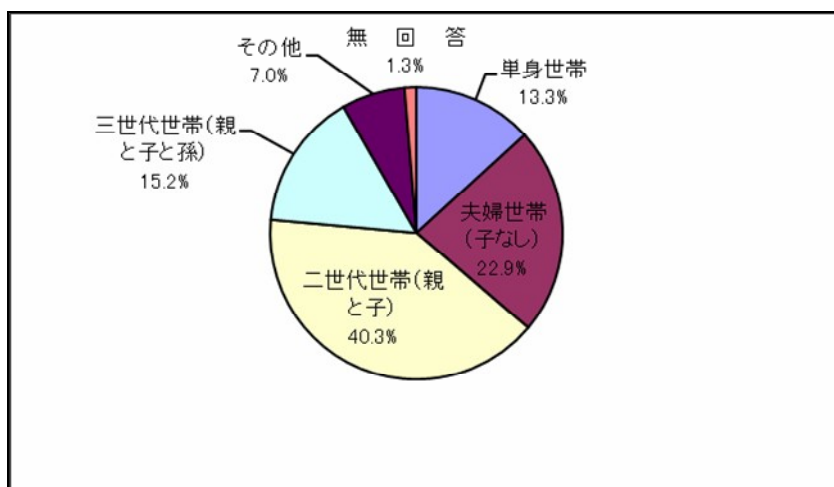
(3) 住まい(問3)

回答者の住まいは、「掛川地区」74.4%、「大東地区」15.1%、「大須賀地区」9.6%であった。



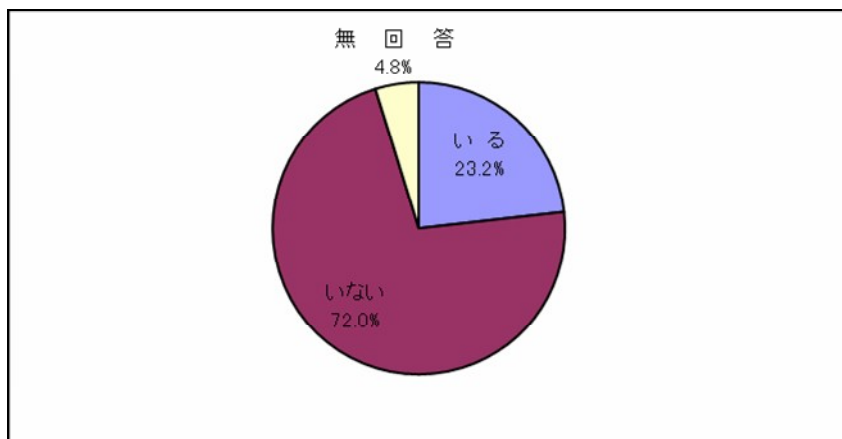
(4) 家族構成(問4)

回答者の家族構成は、「二世世代世帯(親と子)」40.3%、「夫婦世帯(子なし)」22.9%が上位を占め、依然として核家族化が減少していないことがうかがえた。



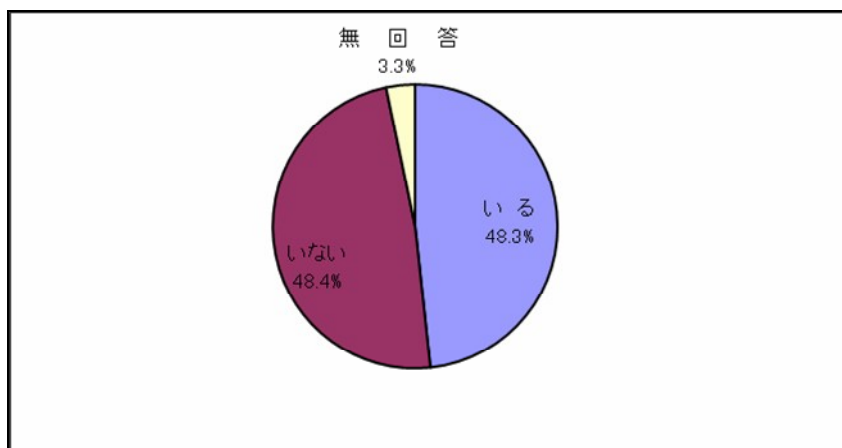
(5) 高校生以下の子どもの有無 (問 5)

回答者の子どもの有無 (高校生以下) は、「いない」が 72.0% で約 7 割を占めていることから、依然として少子化が解消されていないことがうかがえた。



(6) 65 歳以上の家族の有無 (問 6)

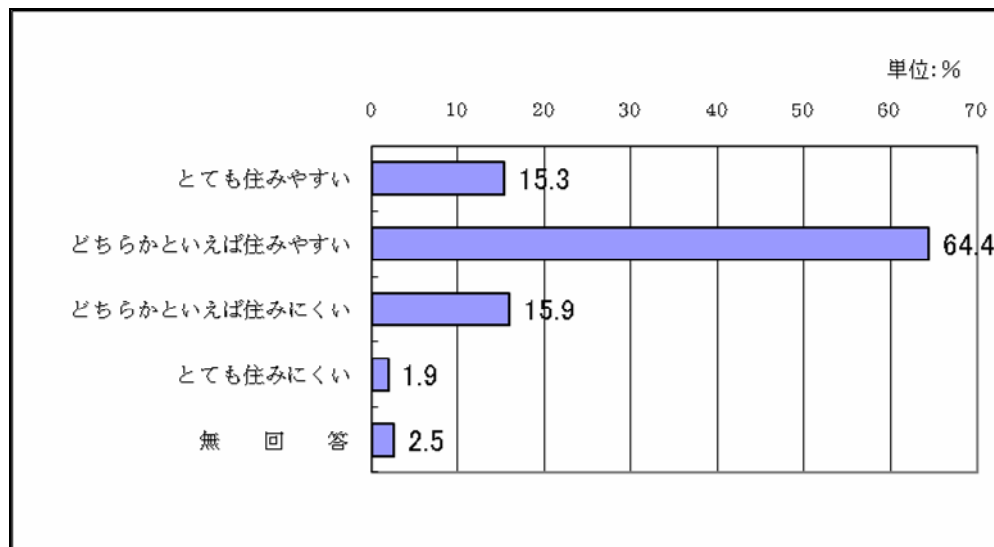
回答者の 65 歳以上の家族の有無は、「いる」48.3%、「いない」48.4% とほぼ同率となった。しかし、「いる」が前回調査より約 9% 増加した。



(7) 住みやすさ(問7)

「どちらかといえば住みやすい」64.4%、と極めて多く、「とても住みやすい」15.3%とあわせると約8割が住みやすいと感じている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」「とても住みにくい」をあわせた数は17.8%となった。

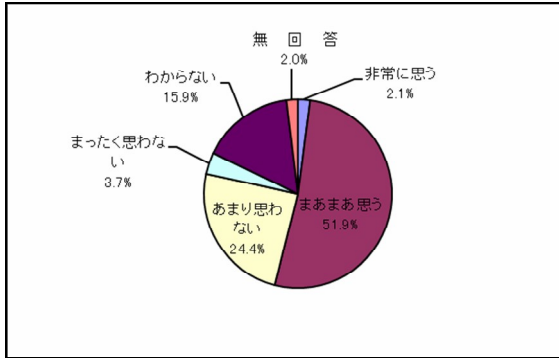


2 . 政策の実施効果

<8-1> 総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱 1

掛川市は、安心して子どもを産み育てる環境が整っているまちだと思いますか？



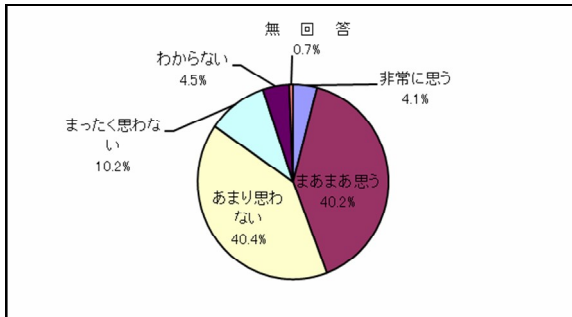
「非常に思う」2.1%、「まあまあ思う」51.9%と肯定的回答が約半数を占めた。

「あまり思わない」24.4%、「まったく思わない」3.7%と否定的回答は約3割となった。

<8-2> 総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱 2

掛川市は、病気やケガなど万一時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？

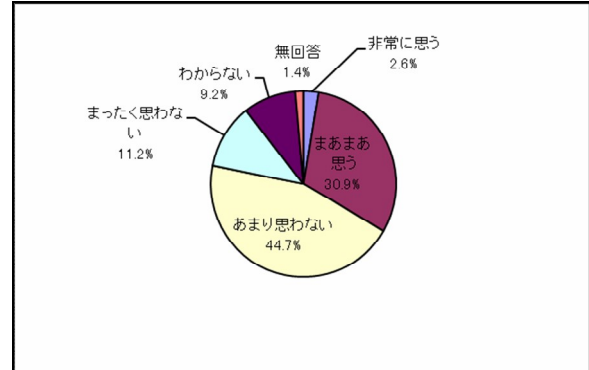


「非常に思う」4.1%、「まあまあ思う」40.2%であり、「あまり思わない」40.4%、「まったく思わない」10.2%と否定的回答が約半数を占めた。

<8-3> 総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱 3

掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？

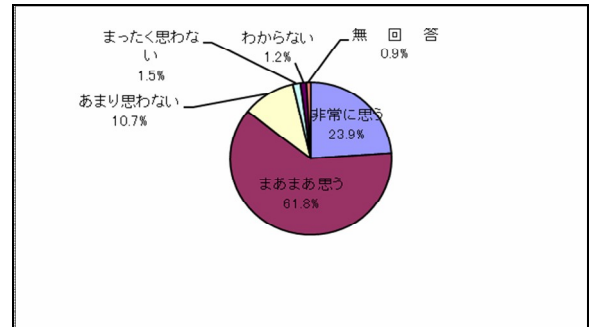


「非常に思う」2.6%、「まあまあ思う」30.9%であり、「あまり思わない」44.7%、「まったく思わない」11.2%と否定的回答が5割以上を占めた。

<8-4> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱 1

あなたは常日頃、ごみの減量化、節水、電気使用量の削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？

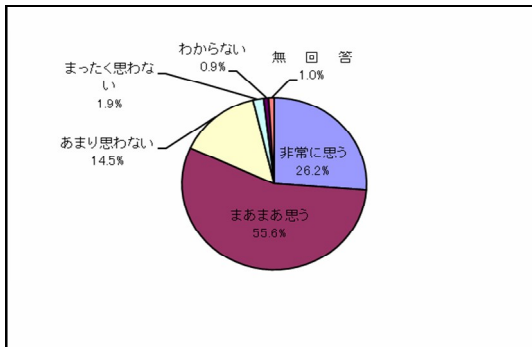


「非常に思う」23.9%、「まあまあ思う」61.8%と肯定的回答が8割以上と非常に高い数値を得た。「あまり思わない」10.7%、「まったく思わない」1.5%で否定的回答は少数に留まった。

<8-5> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱2

あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？

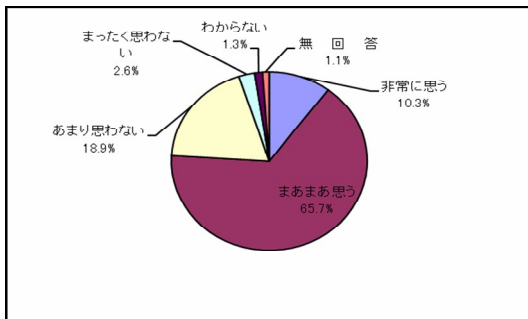


「非常に思う」26.2%、「まあまあ思う」55.6%と肯定的回答が約8割と非常に高い数値を得た。否定的回答は、16.4%に留まった。

<8-6> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、清潔できれいな生活環境が保たれていると思いますか？

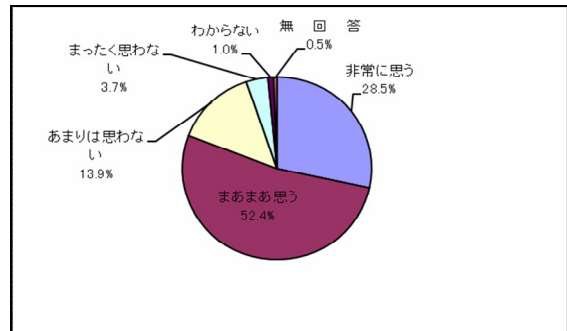


「非常に思う」10.3%、「まあまあ思う」65.7%と肯定的回答が7割以上と高い数値を得た。否定的回答は21.5%であった。

<8-7> 総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3 基本計画3

あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く、安定して供給されていると思いますか？

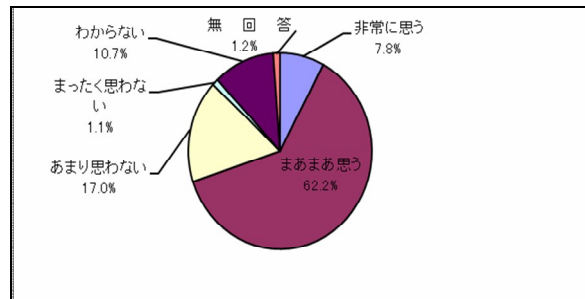


「非常に思う」28.5%、「まあまあ思う」52.4%と肯定的回答が約8割と非常に高い数値を得た。否定的回答は17.6%であった。

<8-8> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱1

あなたは、地域の子供たちが、心身ともに健全に成長していると思いますか？

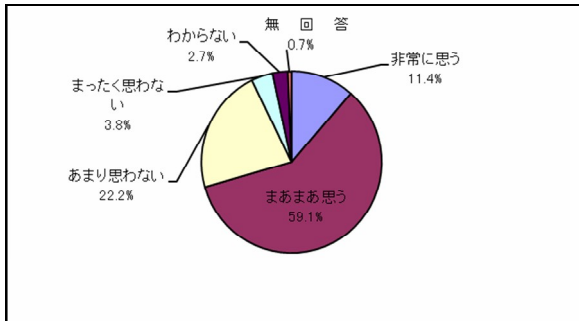


「非常に思う」7.8%、「まあまあ思う」62.2%と肯定的回答が7割と高い数値を得た。否定的回答は18.1%であった。

<8-9> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2

あなたは、健康に気づかい生きがいを持って人生を送れていると思いますか？

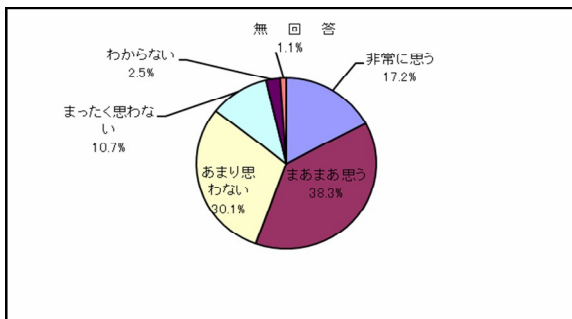


「非常に思う」11.4%、「まあまあ思う」59.1%と肯定的回答が約7割と高い数値を得た。否定的回答は26.0%であった。

<8-10> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画1

あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいますか？

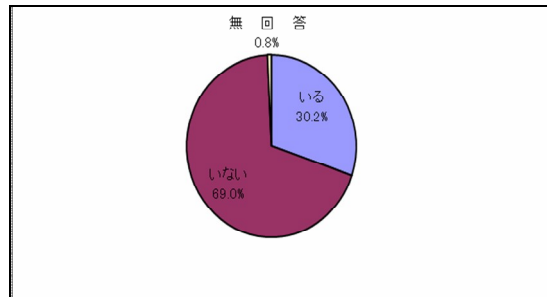


「非常に思う」17.2%、「まあまあ思う」38.3%と肯定的回答が5割以上となった。否定的回答も約4割となった。

<8-11> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画2

あなたは、週1回以上スポーツやレクリエーションをしていますか？

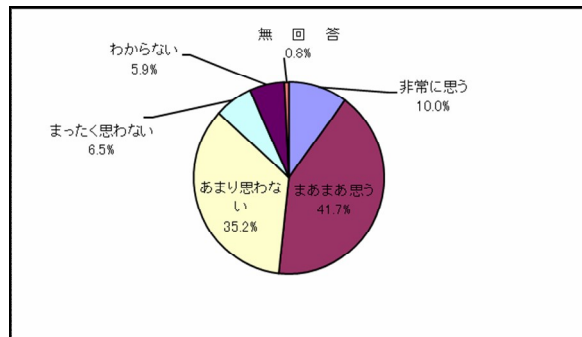


「いる」30.2%、「いない」69.0%となり、否定的回答が多くを占めた。

<8-12> 総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱3

あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？

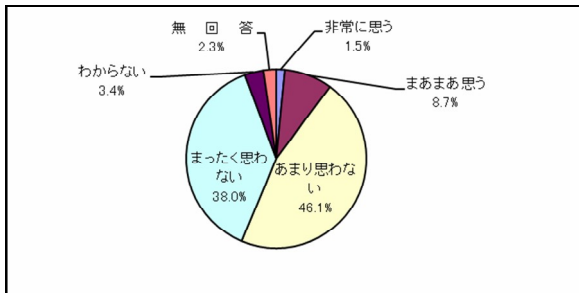


「非常に思う」10.0%、「まあまあ思う」41.7%と肯定的回答が約5割となったが、否定的回答も4割を越す回答となった。

<8-13> 総合計画 成果指標

産業経済分野 大綱4

掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？

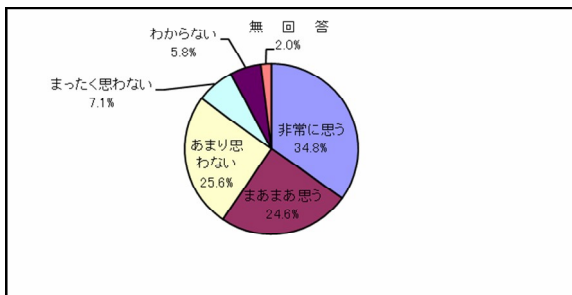


「非常に思う」1.5%、「まあまあ思う」8.7%と肯定的回答が約1割と極めて低く、「あまり思わない」46.1%、「まったく思わない」38.0%と否定的回答が8割以上と非常に多い結果となった。

<8-14> 総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱2

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？

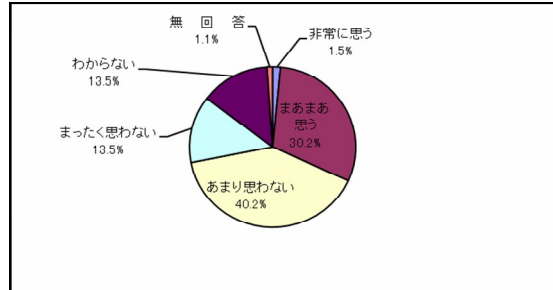


「非常に思う」34.8%、「まあまあ思う」24.6%と不便を感じている割合が約6割となった。「あまり思わない」25.6%、「まったく思わない」7.1%と不便を感じていない割合が約3割となった。

<8-15> 総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱3

掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業などがバランス良く配置されているまちだと思いますか？

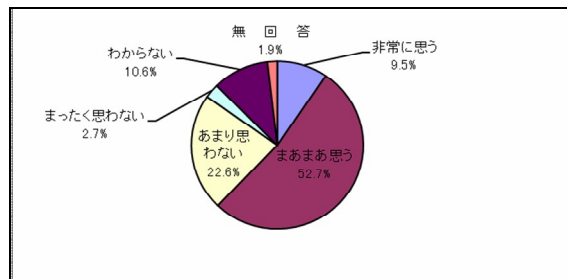


「非常に思う」1.5%、「まあまあ思う」30.2%と肯定的回答が約3割で、「あまり思わない」40.2%、「まったく思わない」13.5%と否定的回答が5割を以上となった。

<8-16> 総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱1

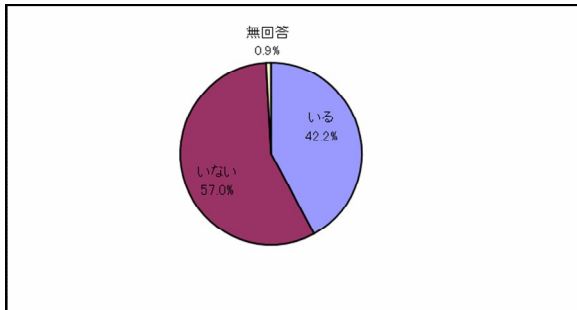
あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？



「非常に思う」9.5%、「まあまあ思う」52.7%肯定的回答が約6割となり自覚をもっている市民が多いことがうかがえた。しかし、否定的回答も2割を超えた。

<8-17> 総合計画 成果指標

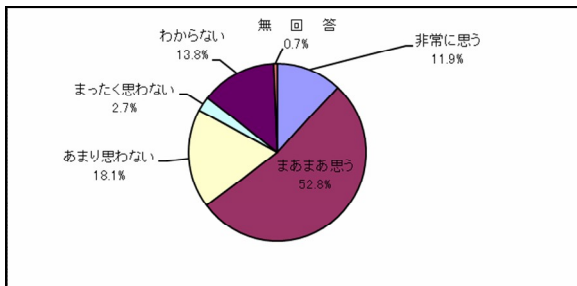
防災危機管理分野 大綱1 基本計画1
あなたは、災害に備えて水や食料など非常持ち出し品を準備していますか？



「いる」42.2%、「いない」57.0%で、準備をしていないとの回答が過半数を超えた。

<8-18> 総合計画 成果指標

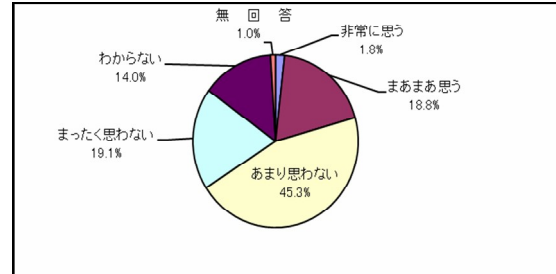
防災危機管理分野 大綱2
掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼できる消防救急体制が確保されていると思いますか？



「非常に思う」11.9%、「まあまあ思う」52.8%と肯定的回答が6割以上となった。否定的回答は約2割であった。

<8-19> 総合計画 成果指標

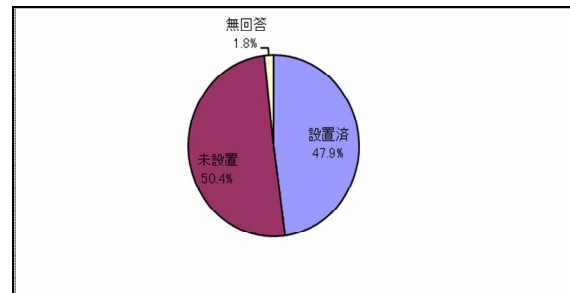
協働広域行財政分野 大綱1
あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに活かされていると思いますか？



肯定的回答が約2割で、「あまり思わない」45.3%、「まったく思わない」19.1%と否定的回答が6割以上となった。

<8-20>

あなたの自宅には、火災警報器(煙や熱を感知して警報音を発するもの)が設置されていますか？

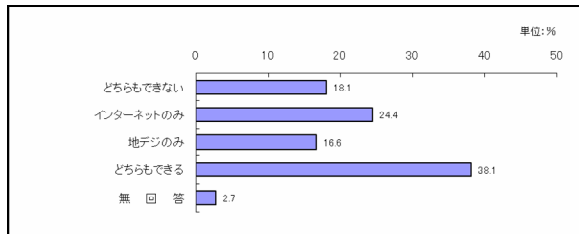


「設置済」47.9%、「未設置」50.4%で「未設置」の回答が若干上回った。

<8-21> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱1基本計画3

あなたの自宅ではインターネットを利用することができますか？また、自宅のテレビで地上デジタル放送を視聴することができますか？

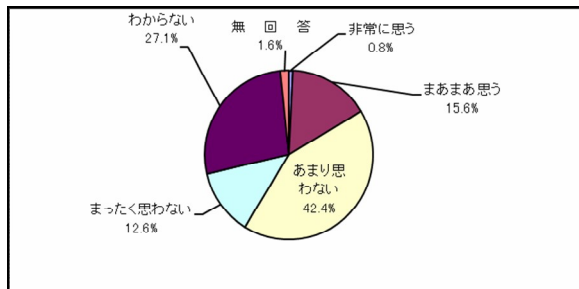


インターネットは約6割の市民が利用できる環境にある。地デジの普及率は54.7%となった。

<8-22> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2

掛川市は、他の自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？

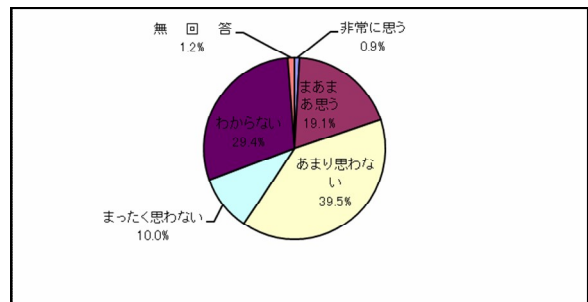


肯定的回答が2割に満たず、「あまり思わない」42.4%「まったく思わない」12.6%と否定的回答が5割以上となった。また、「わからない」も27.1%と比較的高くなった。

<8-23> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2基本計画3

掛川市は、他の自治体に比べ情報公開や情報提供が進んでいると思いますか？



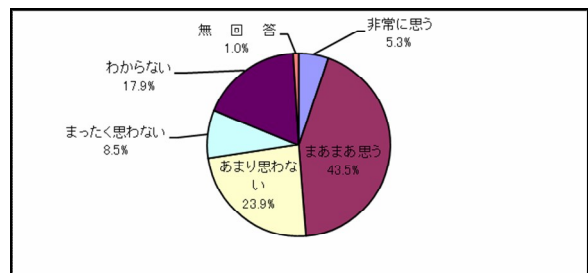
「非常に思う」0.9%、「まあまあ思う」19.1%肯定的回答が2割となった。

「あまり思わない」39.5%、「まったく思わない」10.0%と否定的回答が約5割となった。また、「わからない」も約3割と比較的高くなった。

<8-24> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2基本計画4

あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？



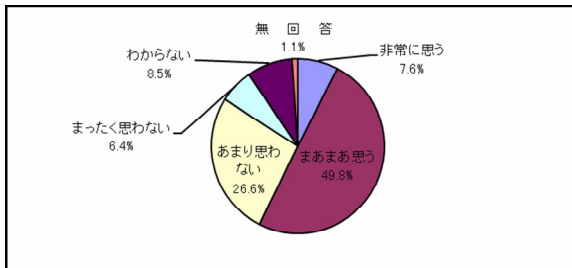
「非常に思う」5.3%、「まあまあ思う」43.5%と肯定的回答が約5割となった。

「あまり思わない」23.9%、「まったく思わない」8.5%と否定的回答が約3割となった。

<8-25> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、人と人が信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？

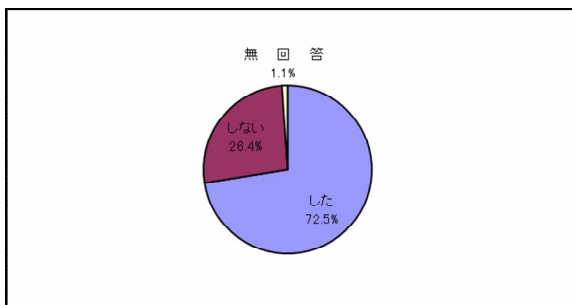


「非常に思う」7.6%、「まあまあ思う」49.8%と肯定的回答が5割を超えた。否定的回答は3割を超えた。

<8-26> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱3 基本計画1

あなたは、一年間に一回以上、地域の活動(奉仕活動やイベントなど)に参加しましたか？

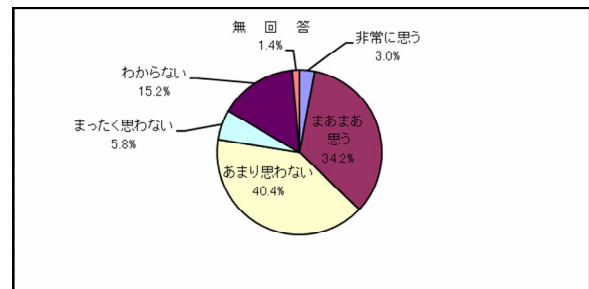


「した」が7割を超え、「しなかった」は3割に満たなかった。

<8-27> 総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱4

あなたは、家庭・地域・職場などあらゆる場面で、男女共同参画が進んでいると思いますか。



「非常に思う」3.0%、「まあまあ思う」34.2%と肯定的回答が3割以上で、「あまり思わない」40.4%、「まったく思わない」5.8%と否定的回答が4割以上となった。

3 . 政策に対する満足度と優先度

ポートフォリオによる分析

ポートフォリオ分析とは、48 施策の満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度（グラフ上側がより優先度が高く、下側がより優先度が低い）を、横軸に満足度（グラフの右側がより満足度が高く、左側がより満足度が低い）をとってグラフ化し、各施策の分布状態から、効果的な投資を判断しようとするものである。座標の原点は、満足度と優先度の両者とも平均値としている。各象限に位置づけられた施策は 48 施策の比較の中では概ね次のように評価されたと考えることができる。

（ 1 ）満足度と優先度の分析結果 （ P 16 のポートフォリオグラフ表を参照）

満足度も優先度も高い施策 - B ゾーン（グラフ右上側）

48 施策の比較では、満足度も優先度も高い施策となる。サービスが一定の水準に到っているが、重要度が高いことから積極的に現状維持する施策となる。

【満足度も優先度も高い施策】

- ・ 2 市民の健康づくり
- ・ 10 地球環境の保全・地球温暖化の防止
- ・ 11 資源循環型社会の構築
- ・ 15 水質浄化の推進
- ・ 16 上水道の安全・安心・安定的な供給
- ・ 17 学校教育の充実
- ・ 18 乳幼児教育・保育の充実
- ・ 19 青少年の健全育成
- ・ 34 防災体制の強化
- ・ 36 消防救急体制の強化
- ・ 37 交通安全対策の強化
- ・ 38 防犯対策の強化

満足度が低く、優先度が高い施策 - A ゾーン（グラフ左上側）

48 施策の比較では、満足度が低く、優先度が高い施策になる。サービスの水準が低く、重要度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策になる。

【満足度が低く優先度が高い施策】

- ・ 1 子育て・子ども支援の充実
- ・ 3 地域医療・救急医療の充実
- ・ 4 高度医療を支える市立総合病院の充実
- ・ 5 国民健康保険事業の健全運営
- ・ 6 障害者福祉の充実
- ・ 7 高齢者福祉の充実
- ・ 23 商工業の振興
- ・ 24 雇用の確保や勤労者福祉の充実

- ・ 28 農業の振興
- ・ 35 住宅や公共施設の耐震化など災害対策の強化
- ・ 42 行政改革の推進
- ・ 43 財政構造改革の推進

満足度も優先度も低い施策 - Cゾーン（グラフ左下側）

48 施策の比較では、満足度も優先度も低い施策になる。サービスの水準は低い、重要度も低いので、市民の不満の要因を把握しながらも、当面、現状を注視する施策となる。

【満足度も優先度も低い施策】

- ・ 26 観光の振興
- ・ 27 市街地の活性化
- ・ 29 幹線道路の整備
- ・ 30 生活道路の整備
- ・ 31 公共交通の利便性向上
- ・ 32 計画的でバランスの取れた土地利用の推進
- ・ 40 国内・国際交流の推進と外国人の共生
- ・ 46 広域行政への取り組み
- ・ 48 男女共同参画の推進

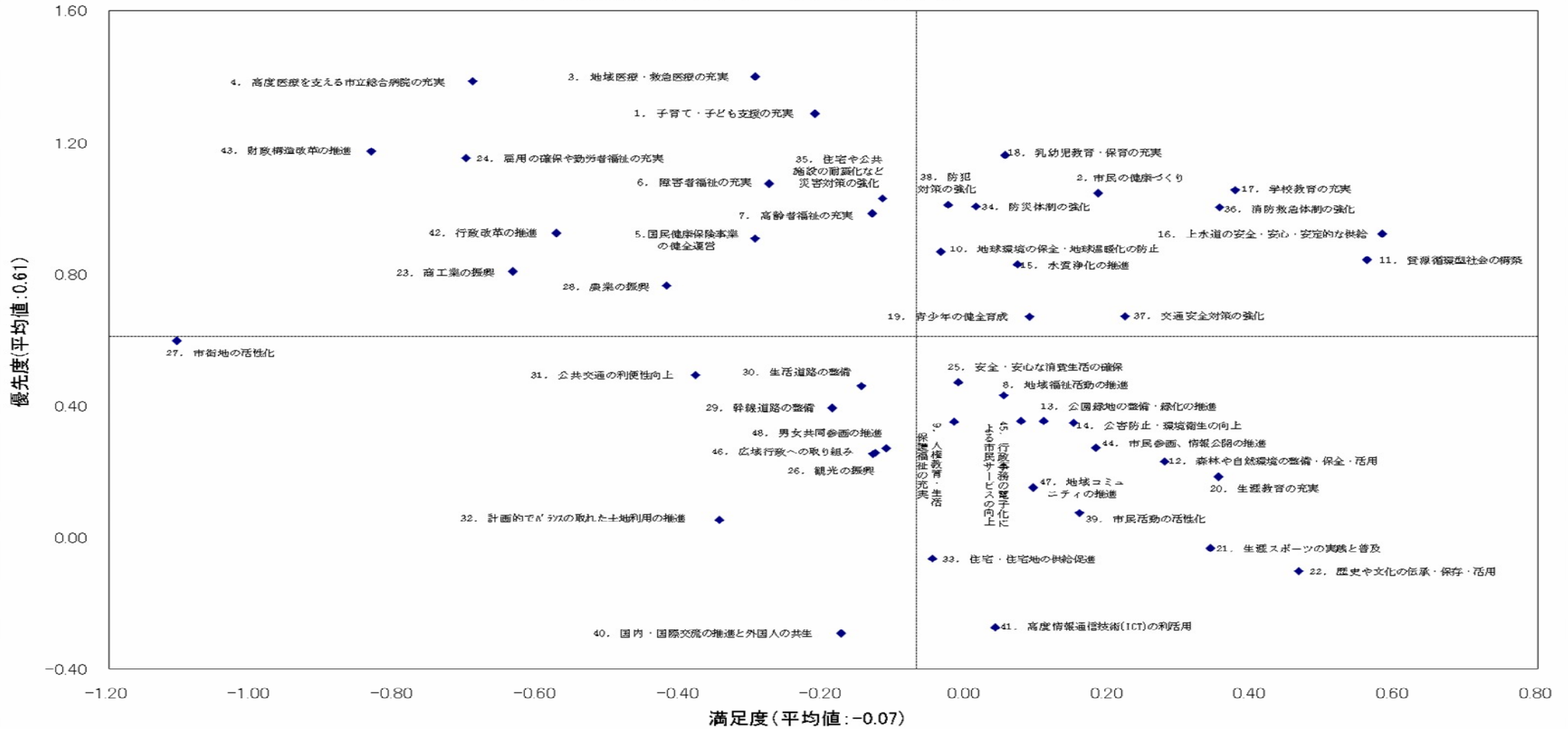
満足度が高く優先度は低い施策 - Dゾーン（グラフ右下側）

48 施策の比較では、満足度が高く、優先度が低い施策になる。サービスが一定の水準に到っていることから、今後、撤退を検討する施策になる。

【満足度が高く優先度は低い施策】

- ・ 8 地域福祉活動の推進
- ・ 9 人権教育・生活保護福祉の充実
- ・ 12 森林や自然環境の整備・保全・活用
- ・ 13 公園緑地の整備・緑化の推進
- ・ 14 公害防止・環境衛生の向上
- ・ 20 生涯教育の充実
- ・ 21 生涯スポーツの実践と普及
- ・ 22 歴史や文化の伝承・保存・活用
- ・ 25 安全・安心な消費生活の確保
- ・ 33 住宅・住宅地の供給促進
- ・ 39 市民活動の活性化
- ・ 41 高度情報通信技術（ICT）の利活用
- ・ 44 市民参画、情報公開の推進
- ・ 45 行政事務の電子化による市民サービスの向上
- ・ 47 地域コミュニティの推進

■市民意識調査のポートフォリオ分析

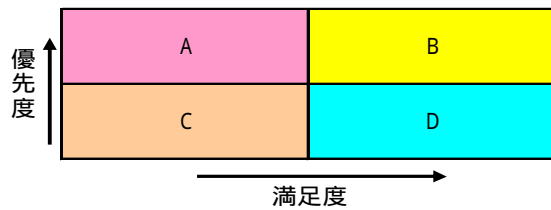


(凡例)

A	B
C	D

- Aゾーン:積極的投資する施策分野
- Bゾーン:積極的に現状維持する施策分野
- Cゾーン:現状維持する施策分野
- Dゾーン:投資量を縮小する施策分野

(2)象限(ゾーン)別の経年変化



区分	H20	H21
Aゾーン	市立総合病院 地域医療・救急医療 財政構造改革 子育て・子ども支援 耐震・防災基盤 行政改革 雇用対策・勤労者福祉 障害者福祉 国民健康保険 農業振興 商工業の振興	市立総合病院 地域医療・救急医療 財政構造改革 子育て・子ども支援 耐震・防災基盤 行政改革 雇用対策・勤労者福祉 障害者福祉 国民健康保険 農業振興 商工業の振興 高齢者福祉
Bゾーン	防災体制 幼稚園・保育園 防犯 高齢者福祉 学校教育 消防救急体制 下水道 上水道 交通安全 青少年健全育成 保健予防 廃棄物処理 地球環境保全	防災体制 幼稚園・保育園 防犯 学校教育 消防救急体制 下水道 上水道 交通安全 青少年健全育成 保健予防 廃棄物処理 地球環境保全
Cゾーン	中心市街地 公共交通 土地利用 男女共同参画 広域行政 幹線道路整備 国際交流・外国人共生	中心市街地 公共交通 土地利用 男女共同参画 広域行政 幹線道路整備 国際交流・外国人共生 生活道路整備 観光振興
Dゾーン	消費生活 市役所サービス 公害防止・環境保全 地域福祉 住宅・宅地 公園緑地 観光振興 地域コミュニティ 協働まちづくり 森林・自然 市民参画・情報公開 スポーツ・レクリエーション 生涯学習 歴史・文化 人権・生活保護 生活道路整備 高度情報化(ICT)	消費生活 市役所サービス 公害防止・環境保全 地域福祉 住宅・宅地 公園緑地 地域コミュニティ 協働まちづくり 森林・自然 市民参画・情報公開 スポーツ・レクリエーション 生涯学習 歴史・文化 人権・生活保護 高度情報化(ICT)

(3)「満足度」の経年変化

考察

順位	H20	H21	順位比較
1位	上水道	上水道	
2位	産廃物処理	産廃物処理	
3位	生涯学習	歴史・文化	
4位	歴史・文化	学校教育	
5位	消防救急体制	生涯学習	
6位	スポーツ・レクリエーション	消防救急体制	
7位	学校教育	スポーツ・レクリエーション	
8位	森林・自然	森林・自然	
9位	市民参画・情報公開	交通安全	
10位	保健予防	保健予防	
11位	協働まちづくり	市民参画・情報公開	
12位	公園緑地	協働まちづくり	
13位	下水道	公害防止・環境保全	
14位	公害防止・環境保全	公園緑地	
15位	防災体制	青少年健全育成	
16位	消費生活	地域コミュニティ	
17位	交通安全	市役所サービス	
18位	人権・生活保護	下水道	
19位	地域コミュニティ	幼稚園・保育園	
20位	高度情報化(ICT)	地域福祉	
21位	幼稚園・保育園	高度情報化(ICT)	
22位	地球環境保全	防災体制	
23位	地域福祉	消費生活	
24位	市役所サービス	人権・生活保護	
25位	青少年健全育成	防犯	
26位	生活道路整備	地球環境保全	
27位	観光振興	住宅・宅地	
28位	住宅・宅地	男女共同参画	
29位	高齢者福祉	耐震・防災基盤	
30位	防犯	観光振興	
31位	幹線道路整備	広域行政	
32位	広域行政	高齢者福祉	
33位	耐震・防災基盤	生活道路整備	
34位	男女共同参画	国際交流・外国人共生	
35位	国際交流・外国人共生	幹線道路整備	
36位	子育て・子ども支援	子育て・子ども支援	
37位	障害者福祉	障害者福祉	
38位	土地利用	地域医療・救急医療	
39位	農業振興	国民健康保険	
40位	地域医療・救急医療	土地利用	
41位	雇用対策・勤労者福祉	公共交通	
42位	国民健康保険	農業振興	
43位	公共交通	行政改革	
44位	商工業の振興	商工業の振興	
45位	行政改革	市立総合病院	
46位	市立総合病院	雇用対策・勤労者福祉	
47位	財政構造改革	財政構造改革	
48位	中心市街地	中心市街地	

分野別	「満足度」の経年変化における特筆点
保健医療福祉系	「保健予防」に関する満足度は中位で推移している。しかし、医療に関する「地域医療・救急医療」及び「市立総合病院」や「子育て・子ども支援」の満足度は、医師不足、市立総合病院の統合問題など将来に対する不安からか、前回調査と同様に下位で推移している。
環境生活系	前回調査同様に満足度が最も高い分野である。これまでの環境問題に対する様々な取組が市民へ浸透してきたことがうかがえる。しかし、「地球環境保全」については若干の危惧を抱いている印象を受ける。
教育文化系	この分野の満足度は、前回調査同様に上・中位に位置している。「幼稚園・保育園」及び「青少年健全育成」についても前回調査よりも上位に位置した。
産業経済系	「雇用対策・勤労者福祉」については、前回調査に比べ大幅に順位が下がった。これは、世界的な不景気のため企業のリストラや新規採用の縮減などによるものではないかと推測される。他の項目についても順位が後退しているのが目立ち、「中心市街地」に関しては、前年同様に最下位となった。
都市基盤系	前回調査で、この分野の満足度は、中位から下位に多く位置していたが、「生活道路整備」及び「幹線道路整備」については高瀬線の開通及び南北道整備が進んでいる中で満足度が大幅に後退した。
防災系	この分野の満足度は、前年同様に上位から中位に多く位置している。「交通安全」及び「防犯」等は大幅に順位が上がった。これは各種交通安全・防犯・防災施策が市民に評価されているものと思われる。
協働・広域・行財政	この分野では、「市民参画・情報公開」及び「協働まちづくり」に関する地域コミュニティ関連項目は前回調査同様に比較的高い満足度を得ていることがわかる。しかし、「行政改革」及び「財政構造改革」に関する項目は前年同様に極めて下位に位置している。

(4)「優先度」の経年変化

考察

順位	H20	H21	順位比較	区分	分野	「優先度」の経年変化における特筆点	コメント
1位	地域医療・救急医療	地域医療・救急医療		第1位グループ	保健医療福祉	優先度上位3位の「地域医療・救急医療」、「市立総合病院」、「子育て・子ども支援」は、順位変動なし。「雇用対策・勤労者福祉」については前回調査より大幅に優先度が上昇した。	前回調査同様に健康を守る意識の高さ、子どもの養育に対する意識の高さがうかがえる。「雇用対策・勤労者福祉」については、世界的な不景気による企業のリストラ等に対し危惧していることがうかがえる。
2位	市立総合病院	市立総合病院					
3位	子育て・子ども支援	子育て・子ども支援					
4位	幼稚園・保育園	財政構造改革					
5位	財政構造改革	幼稚園・保育園					
6位	学校教育	雇用対策・勤労者福祉					
7位	耐震・防災基盤	障害者福祉					
8位	防犯	学校教育					
9位	防災体制	保健予防					
10位	消防救急体制	耐震・防災基盤					
11位	地球環境保全	防災体制					
12位	障害者福祉	防犯					
13位	廃棄物処理	消防救急体制					
14位	保健予防	高齢者福祉					
15位	上水道	行政改革					
16位	行政改革	上水道					
17位	高齢者福祉	国民健康保険					
18位	国民健康保険	地球環境保全					
19位	下水道	廃棄物処理					
20位	雇用対策・勤労者福祉	下水道					
21位	交通安全	商工業の振興					
22位	農業振興	農業振興					
23位	商工業の振興	青少年健全育成					
24位	青少年健全育成	交通安全					
25位	中心市街地	中心市街地					
26位	消費生活	公共交通					
27位	公共交通	消費生活					
28位	地域福祉	生活道路整備					
29位	公害防止・環境保全	地域福祉					
30位	公園緑地	幹線道路整備					
31位	人権・生活保護	公園緑地					
32位	幹線道路整備	公害防止・環境保全					
33位	生活道路整備	市役所サービス					
34位	森林・自然	人権・生活保護					
35位	市役所サービス	市民参画・情報公開					
36位	広域行政	男女共同参画					
37位	男女共同参画	広域行政					
38位	市民参画・情報公開	観光振興					
39位	生涯学習	森林・自然					
40位	地域コミュニティ	生涯学習					
41位	観光振興	地域コミュニティ					
42位	土地利用	協働まちづくり					
43位	協働まちづくり	土地利用					
44位	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション					
45位	歴史・文化	住宅・宅地					
46位	住宅・宅地	歴史・文化					
47位	国際交流・外国人共生	高度情報化(ICT)					
48位	高度情報化(ICT)	国際交流・外国人共生					
				第2位グループ	防災危機管理 教育文化	多少の順位変動はあるが、防災・防犯・消防救急及び学校教育は常に高い位置を占めている。	安心・安全な暮らしに対する意識の高さがうかがえる。健康を守る意識が高まっている状況がうかがえる。
				第3位グループ	保健医療福祉 環境生活	多少の順位変動はあるが、常に中位を占めている分野である。このグループの中では「産廃物処理」、「地球環境保全」の順位が下がっている。	環境生活については、これまでの施策が市民に評価され以前より優先する意識が低くなっていることがうかがえる。
				第4位グループ	産業経済	「中心市街地」については、満足度で3年連続最下位であったが、優先度は前回調査と同位とそれほど高い傾向にはなっていない。	産業経済分野は、前回調査同様に優先度がほぼ中位に位置していることがわかる。
				第5位グループ	都市基盤 環境生活	上位に位置する傾向の高い保健医療福祉分野の中においては「地域福祉」、「人権・生活保護」が、前回調査同様に非常に低い位置であることがわかる。道路整備については、前回調査より優先度が高くなった。	「地域福祉」、「人権・生活保護」は、未だ市民に浸透していない現状がうかがえる。道路整備は、ひっ迫する財政状況の中であまり優先度が高くないことがうかがえる。
				第6位グループ	協働・広域・行財政	前回調査と比較して、このグループ内の順位変動はほとんどないが、「森林・自然」の順位が大きく下がっている。	市民が一般的な生活をする中で重要性が低いいため優先度は低く推移している。
				第7位グループ	教育文化 協働・広域・行財政	前回調査と比較して、このグループ内の順位変動はほとんどない。	今回の調査で、このグループの優先度の評価はマイナスとなっており、市民は優先する必要はないと感じていることが強くうかがえる。

第3章 自由回答結果（主な意見）

【保健医療福祉分野】

1. インフルエンザなどの予防接種の負担を減らしてほしい。
2. 合併はしたけど、旧地域ごとにわけられている事が多く（特に検診）、一本化してほしい。掛川市という一体感がもてない。
3. 大東の保健センターをもっと自由に使えるようにして下さい。
4. 掛川、袋井の病院合併について。近年完成をみて掛川総合病院は今後、どの様にするのか。税金の無駄遣いとなるのではないか？合併後は患者等にスピーディーな対応は可能なのか心配。待ち時間がやたらと長くなるのではないか。専門医の確保も希望します。
5. 新病院に関しては医師をどのくらい供給できるのかがポイントだと思います。立ち行かない病院が一つになっても2倍の大きさになった立ち行かない病院が出来るだけです。医師と看護師を確保してほしい。
6. 市立病院の統合については、地方債残・市財政が厳しいと聞いています。道路や病院の建設費の負担は袋井市と同等で進めてもらいたい。
7. 新病院の建設に関し、建設用地の取得費、建設費の負担割合、入院ベット数の減少等の問題に多くの危惧をもっています。
8. 新病院は救急患者を必ず受け入れてもらいたい。ベッドの空きがなくても応急処置だけはやってもらいたい。たらい回しの状態だと患者はどんどん悪くなっていくし、待っている方のイライラも募ってくる。
9. 現掛川病院は新病院建設後、老人養護のホーム、リハビリを兼ねた施設に活用していただきたい。
10. 現市立病院跡地の利用については、市民の意見も入れて進めていただきたい。
11. もっと、新病院開設に関する情報提供をお願いしたい。
12. 市立病院の対応等、もっと患者の声を聞いて変えるべきである。
13. 掛川12万人市なので小児医療や周産期医療を浜松や静岡市に頼るのではなく、掛川市内の病院で対応できるようにしてほしい。搬送に時間を要し、

家族の面会も遠くなるため。

14. 夜間・休日の救急医療体制ができていない。休日朝 9 時半頃センターに行ったが、すごく混んでいて 3 時間待ち。薬受け取りも 30 分以上待ちました。もっとスムーズに診てもらいたいです。
15. 夜間救急医療の充実（土日祝など開業医の休みの時も含め）紹介のみの受付や救急搬送の患者を優先的にする市立病院が遠い存在のように思っています。医療費も所得税のように徴収のように各家庭の収入に応じて低所得の家庭は免除に高所得の家庭は一律 1 回 1000 円とか…。
16. 昨年、子供が怪我をしたので午後 10 時頃に市民病院へ電話したが診察してもらえず、当直医を紹介されたが内科医だった。結局、後日、専門医で受診するよう言われた。どーなっているのだろう。
17. 病院の職員はもっと優しく親切に接するべき。言葉使いも悪い。具合が悪く外来、入院して、ナースの態度は一番の支えになるはずなのにとてモブロとは思えない。指導が悪い。
18. 救急車はもっと早く来てほしい。救急隊員や病院医師からは何度も同じ事を聞かれて、処置がなかなかされなかった。
19. 昨年出産したのですが、一ヶ月保健婦訪問でとても嫌な思いをしました。子育ての相談を受ける窓口が親切でなく、子育てしにくい環境の街だと痛感しました。
20. 今後、結婚し子育てをしていく年齢です。子育てしながら安心して働けるまちづくりをお願いしたいです。また、うちには高齢者が 3 人もいます。もっと、おじいちゃん、おばあちゃん達がお互いに交流できる場があると良いと思います。
21. 子育て支援の充実をもっとしてほしい。保育園を増やしてほしい。
22. どうして 1 人目の子供には出産祝金が出ないのか？ 1 人でも産むのは大変な事です。1 人でも子供に恵まれない夫婦はたくさんいるのに 2 人目からでは不公平だと思う。同じように納税しているのに！
23. 近くに一時保育や夜間でも預かってくれる託児所があれば助かります。
24. 乳幼児に対する支援、子育て支援などの改革をお願いします。子供が安心して暮らせるようなサービスを充実させてください。

25. 子供の医療費を小学生まで延長してほしい。
26. せめて小学6年生までの医療を無料にしてほしい。子供は地域を活性化させる大事な宝と考える。
27. 高齢者の病院窓口負担1割と介護保険の受益者負担1割を15%～20%にして、その分で小学生の医療費を無料にしてほしい。
28. 年寄りが増えていくため、生きがい、レクリエーションなど皆で楽しく生活し、ボケ防止が出来るようにしたい。
29. 障害者用の施設を増やす。福祉制度が充実していない。
30. 身体障害者（視覚障害）の人ができる仕事がほしい。
31. 子供が重度知的障害者・自閉症です。障害者を取り巻く環境はどんどん悪くなっていきます。市政の中で障害者が明るい毎日を送れる環境を整えていただきたいと願っています。

【環境生活分野】

- 1 . 分別回収されたゴミがどのように処理されているのか知りたい。資源ごみは本当にリサイクルされているの？
- 2 . サイズの小さい「燃えないゴミ袋」を作ってほしい。大きいサイズしかないので使いづらい。こまめに燃えないゴミは出したい。
- 3 . ゴミの分別が細かすぎる。本当に分別が活かされていますか？ちゃんとした焼却炉で燃やせばこんな分別いらぬはず。
- 4 . 生ゴミを「魔法のバケツ」で菌発酵させ、一日で分解し肥料にする方法です。これを掛川市で作し、必要な方に配布して生ゴミを減らす方法はどうか？
- 5 . アパートを建築する際、ゴミ・排水等のトラブルが多いので建築確認申請の際に周辺自治会、区長の許可を必要とするようにできないか？
- 6 . 障害の老人世帯は廃品回収を玄関前に出しておけば回収するようにしてほしい。
- 7 . 太陽光発電 + オール電化の補助金は一律 2 万円では少なすぎるので、もう少し増やし、地球環境に各自で取組めるように勉強会や普及に繋がるセミナー等も含め、市の助成があったらいいと思う。
- 8 . 通勤・通学にマイカーを使わず、公共交通を利用する日を定めてエコに協力しては？
- 9 . 森林や自然環境にもっと目を向けるべき。目先の自然破壊は進歩ではない。自然との共生を考えた住みやすいまちづくりをお願いします。
- 10 . 犬のフン害に対しては罰則を設けて厳しくしてほしい。

【教育文化分野】

1. 幼保園の建設に意味があったのでしょうか？幼稚園と保育園はそれぞれ方針が違うので建物を分けたほうが良いと思います。子供達を安心して預けられる、少人数制で見ることが出来る園づくりを希望します。
2. 幼保一元化について、目標が達成されているのか現状を把握し、今後の課題を検討してほしい。公立園への申し込みの多さ、保育料の格差等について考えていただきたい。
3. 保育園は充実していると思いますが、現状ではどちらにも行けない子供もいますので、入園条件等について再考をお願いします。
4. 保育園が増えているが、近くの園に通うことができないなど不便である。他市に比べ保育料が高く、子育てしにくい環境である。少子化を止めるためには改善すべきである。
5. 保育園に入れなくて困りました。子供を持つ親に優しい街にしてください。
6. 少子化対策の一貫で幼稚園の増設・学童保育所の施設改善等を要望します。
7. 学級間によって学力の差が大きいのので、平等に生徒数を調整してほしい。
8. 学級において 30 人以下学級の早期達成を願っています。
9. 子供の頃は道徳という科目がありました。しかしその時間は自習時間になったり他の科目の授業になったりと、まともにあの時代でさえ道徳という授業はやりませんでした。今、子供達にはこういう授業が必要なのではないのでしょうか。心の教えというかそういった科目をしっかり授業できる先生方の教育をお願いしたいと思います。
10. 高齢者への優遇よりも子供の教育に予算を優先してほしい。
11. 小学生の子供をもつ親として、通学路の安全性を確認してもらいたい。
12. 小中学校の特別支援学級の拠点校化は、地域の子どもを地域で育てることにはならず、保護者の心理的、物理的負担を増加させるだけで改革にならないと思います。磐田市では市で先生を雇用している自治体もあります。
13. 人づくりのための教育、行事の内容の充実と活発化を期待します。
14. 今ある自然を大切に、子供達がのびのびと育つ環境と教育や職場があれば、もっと活気のあるまちになると思います。

【産業経済分野】

1. 市が農地を買い上げ等をして、市民農園として貸し出しをする。3～5坪くらいに区分けして希望者に年間契約として農地を貸付する。
2. 農家の野菜、手作り品などを売ってくれる場所がもっとあれば良いと思う。
3. 水田が新住宅へと乱開発が進んで来た現在、水田耕作に対する新住民の一方的な苦情が多く、正常な農業が出来ないのが現状です。この20年近く、新住宅の排水と農業用水との問題等、農耕者にとっては多大な問題は我慢し和気あいあいとした地域づくりに努力してこの地区は大変うまくいっていた地区であったが、良き環境の地域が崩れつつあります。農業がやりにくくなってきました。
4. 海岸砂防林の松くい虫切倒しは山肌を荒らすにすぎない。このような作業は意味があるのでしょうか？
5. 駅前中心街は華やかさに欠けると思っています。若い人達が喜ぶようなナイトスポットも少し整備した方が良いのではないのでしょうか。
6. 駅前をもっと栄えさせる。デパートを作る。空港に一番近い駅が掛川だから、それらしく変えた方が良い。
7. 掛川駅前より掛川城の通り及び商店街の活性化。他県等の観光地でも古い町並み等で活性化を行って、大成功をしている所もあるように、何か考えることはできないのですか？今のままでは空港が出来ても何の利益が得られないと思います。
8. 駅前を中心としたコンパクトな街づくりを追求すべきと思う。病院や老人ホームを郊外に作らず、むしろ中核的な設備として中心部に配置し、歩きながらショッピングや食事ができる街づくりをしてほしい。
9. 駅周辺に活気がない。もっと若者を集めるイベントを企画した方が良い。昨今、戦国武将ブームもあり子供向け以外にコスプレ、仮装大会もいいと思うし、掛川城の井戸の伝説を用いて井戸からドライアイスの煙を出してもおもしろい。地元以外の人を集められるイベントの開催を希望します。
10. ショッピングモールなどを充実させてほしい。BBQや川やスポーツが出来たりする大きな公園がもっとあると良い。駅前を活性化させてほしい。
11. 「ららぽーと」のような大型ショッピングモールなどの誘致や掛川駅周辺の再開発などで市民生活の活性化と都市化が必要。新幹線が停まる駅を持っているにも関わらず磐田、袋井に遅れをとっている。「住みたいまち・

魅力的なまちであってほしい」

12. 中心市街地の活性化に力を入れているが、旧大東、大須賀も同じ掛川なのだから、同じように活性化に力を入れてほしい。
13. 駅北ばかりでなく、駅南にも飲食店などを充実してほしい。
14. イベント時は無料駐車場を設けてサービスする。落語のようなものを身近にやってもらいたい。映画館もほしい。
15. 掛川駅にとまる新幹線を増やしてください。夜遅くまでやってるスーパーを増やしてください。
16. 静岡空港開港に伴い、新幹線ひかり号の掛川駅停車の実現を望みます。
17. 静岡空港を利用する外国人に対して掛川市を観光エリアとしてPRしてほしい。
18. 観光者用に絶景ポイントパンフなどを作ったらどうか？
19. 戦国ブームにのって、歴史の色を出して行ってほしいです。
20. まちおこしのアイデア等を市民の生の声を聞く意見交換の場をつくったらいいと思います。
21. 若い人が地元に戻ってきやすいように、就職の斡旋などを積極的に行ってほしい。
22. 西南郷（東名高速道以南）の農振地域（青地）を徹廃し地域活性化に力を入れてもらいたい。

【都市基盤分野】

1. 大須賀、掛川間の南北道を早く通してください。便が悪くて大須賀は日陰の存在です。都市計画税はとられて！！おかしくないですか！！
2. 市街地循環線、始発時間をもう30分早く、終発便をもう1便増やしてほしい。1万円の回数券をぜひ復活してください。200円料金は高いので100円に統一。
3. バス運賃は西が100円なら東も100円にすべき。年寄りから100円なら利用したいという意見をよく聞く。
4. コミュニティーバスを市街地だけではなく、山間地（田舎）の方まで通る路線を実施してほしい。袋井・磐田などは民間バス路線外の所までである。街中のみでは不満です。
5. 市バスが1時間に1本の時間帯があるが、これでは生活のうえでは利用できない。乗客が0人の時も多いので、改善策を講じるべきである。
6. 旧掛川市周辺だけが100円バス等の市民サービスが充実しており、旧大須賀・大東地区は同じように市税を納めているのにも関わらず蔑ろにされている。都市計画税の恩恵にあやかれるのは旧掛川市民だけではないか。
7. 掛川地区、大東地区、大須賀地区で差があってはいけない。掛川地区には便利な100円バスがあるが、大東・大須賀は駅へ行くのに1000円近く料金が必要。税金は同じように払っているが100円バスはなぜ掛川地区だけなのか？
8. 都市計画税は旧大東・旧大須賀からも取る必要はあるのか？取るならば掛川地区だけでなく、旧大東・旧大須賀もちゃんとした対策をしてほしい。都市計画をしないのであれば税金もやめてほしいです。南部地区の活性化を！！
9. 旧掛川市だけでなく、旧大東町、旧大須賀町にも目を向けていただき、開発の遅れている部分をよく視察していただき、公平な掛川市をつくっていただきたい。
10. 掛川ばかり色々な建物ができ、大東や大須賀にはあまり新しいものが増えない。同じ税金を払っているんだから、もっと住みやすく便利な街にしてほしいです。
11. 市全体が活性化するよう南部の自然や伝統を生かし平等に計画実施していただきたい。

12. 駅周辺に無料駐車場を作ってください。駅周辺の有料駐車場が高い。(1日停めておくと相当な値段になる)無料駐車場が少なすぎる。桜木線のバス、定期コースでは利用者が少ない為、遊家・家代方面にも走れる様にして下さい。
13. わけのわからない道路工事はやめてほしい。交通事故と渋滞を誘発させるだけ。やるのなら深夜にして通勤時間帯はやめてもらいたい。
14. 他市に比べ道路が狭くてでこぼこで事故を起こしやすい。交通の便が悪いので、もう少し便をよくしてもらいたい。
15. 下水道工事ですが、工事が終わったあとの道路がめちゃくちゃで雨の日など道路いっぱい水溜りになっています。歩行者などにも危険だと思います。どうせ工事をするならキレイにして欲しいです。
16. 掛川駅内、特に北口バスや歩道はベビーカーを使って歩きにくいため、もっとバリアフリー対策をして移動しやすいようにしてほしい。
17. 足が不自由な方のためにバリアフリーの道路等駅周辺を改善してほしい。
18. 老人や障害者など車での移動が困難な方のために公共交通機関の充実を目指してほしい。車が無くても生活できるまちづくりを希望します。
19. 掛川駅周辺でなく、広域に発展する施策を実施してほしい。都市計画税が何に使われているのか疑問です。
20. 子供の通学路の歩道をもっと広げてほしい。街路樹などを植えて見た目は良いが、歩道が狭くなるし見通しが悪いと思います。住宅地のある交通量の多い道路は水はけの良い、音を吸収する新しいアスファルトにしてほしい。
21. 日本の将来を担う子供のために通学路の草刈り等整備をしてもらいたい。
22. 自然と共生しているまちづくりを希望します。土地開発をしない勇気もぜひ考えていただきたい。
23. 天浜線の本数を増やしてほしい。
24. 市営住宅を増やしてほしい。安値な物件を増やして下さい。
25. シオーネ北側の街路については合併前は定期的に管理されていたが、合併

後は一度も手入れされない。予算が無いなら自治会等に依頼したらどうか？

26. 小さい子供が遊べる公園などをもっとつくってほしい。
27. 公園等の樹木はそばに暮らす者には良い事ばかりでないということを考えて少し刈り込んでほしいです。
28. 掛川駅前、連雀商店街などの駐車場スペースを低料金で解放してほしい。
29. 合併浄化槽を早く作って下さい。
30. 「全市文化公園都市」づくりは実現に向けて取り組んでください。併せてプラン策定にあたる構成員の選抜は公募により広く求め、市民が夢と希望を抱ける、緑ゆかたで安らぎを与えてくれるまちになることを望んでやみません。
31. 倉真地区に計画されている大規模駐車場に関するアクセス道路整備と大量に処理されなくてはならない汚水処理の設備に対し、市当局の対応を早急に明示していただきたい。
32. 河津桜からスタートして、お城の周辺に桜の木を植えたらどうかと思う。三の丸広場はイベント以外で使われていないのもったいない。逆川の土手の百合の花はとてもきれいなのだが、駐車場が無くて残念。

【防災危機管理分野】

1. 耐震問題等について不安があります。もっと費用等の紹介をしてほしい。
2. LED防犯灯の設置をしてほしい。狭い道路の車道と歩道、自転車専用の区別をしてほしい。
3. 横浜から越して半年が経ちましたが、掛川は住みやすい町だと思っています。でも車で移動していると「もみじマーク」の車が横浜よりやはり多く思います。高齢者が車を運転されているのはちょっと不安です。でも車が無いと生活が大変なんだろうと思います。
4. 小さな犯罪を減らし、安心して住みやすい街づくりを期待します。高齢者、障害者の笑顔の見える街づくりを願います。
5. 同報無線のアナウンスが風向き、騒音などで聞き取りにくいのでもう少し台数を増やしてもらいたい。
6. 駅前に住んでいますが、同報無線が全然聞こえなくて不便です。各戸に無線が配布してある家もありますが、聞こえない家庭には至急設置してほしい。
7. 児童の下校時に青色灯パトロールにより巡回していますが、これが防犯対策として効果があったのでしょうか？袋井市では防犯対策として、老人ボランティアを要所に配置して指導しています。この対策では、児童とのコミュニケーションができる・老人の生きがい対策にもなる・不審者への警告になる等、青少年健全育成会活動してより効果があるように思われます。
8. 安全パトロール車は防犯対策上有効であるので更なる充実を望みます。
9. 小・中学生の下校時の安全パトロールを増やしてほしい。
10. 大人の交通マナーが悪く感じられます。子供の手本になるマナーを大人が身につけるように市民に呼びかけるべき。
11. 消防団に善意で入ったにもかかわらず、いじめにあい、飲酒を強要され、体調を崩し、しかも退団にする時に10万円払わされるなどあるまじき行為が陰で行われていて被害者は泣き寝入りしています。消防団では本当に何が行われているのか調査部署を設けてしっかり調査してください。正しいものが報われる市政の実現を希望します。
12. 消防団のお金の使い方（不参加者の負担など）を鮮明にしてほしい。

【協働・広域・行財政分野】

1. 財政再建が第一。県下ワーストワンとも言われている巨額債務。軽視すれば夕張に通ずる事になるのでは？市民に窮状を訴えて下さい。不用不急な事業等は切捨てる。身の丈に合った政策に舵を取るべきです。報徳精神実践！！
2. 市民の声が届く行政となる様、気軽に書ける意見箱があると良いなと思います。また、市民意識向上のための講演会が多くあると嬉しいです。
3. 税収の伸びは見込めないなので、選択と集中をし、支出を減らしてほしい。何を行うにも費用対効果を考えて！
4. とにかく無駄を省いて借金を減らす。市民税減に期待。
5. 市民でも実施できる事柄は区長を通じて区民に実施させ、地域の団結と親睦を図らせる。
6. 地域リーダーづくり、市民ネットワークづくり等人づくりを早急に実施する。これによりまちづくりが促進する。市民を入れた経済諮問委員会の設置。職員の皆さんがんばってください。市民も協力いたします。がんばれ掛川、みんなでつくろう掛川、我が町掛川を。
7. 何でも行政ではなく、市民の自立を促しつつ、行政が向上していくことを考えるべき。行政は単純な福祉改善、地域振興でなく、本当に住みやすいまちづくりを進めてもらいたい。
8. 箱物づくり行政は控えてください。各種負担金、税金が高い。高所得者からもっと徴収するべき。
9. 大勢の人との話し合いで市の事業に対して進めてもらいたい。
10. 市民の声を聞く場を多く持ってほしい。市 市会議員 市民の一本通った線で多くの意見を細かく聞いてほしい。
11. 会合の全てを掛川市だけ行うのではなく、大東・大須賀でも行ってほしい。
12. 市民総代会以外にも市民対話集会の開催を希望します。
13. 特別委員会などで提言を生かす工夫がほしい。
14. 今年から軽自動車税がコンビにでも可能になりありがたいです。国保税もぜひこのように変えて欲しいです。

15. 今回のアンケートはとても良いと思う。市長が市民の意見に耳をかたむける姿勢はとても感心なことだと思います。
16. 市長公約である市民参加型の市政を実現する制度づくりの推進をしてほしい。その際、市民を行政サイドに取り込むためだけでなく、批判的な意見も活かす。
17. 広報で講座、行事等で希望者募集人数に制限があり、申込多数の場合に申込順にするのは止め、抽選にする。(広報が配布されるのが地域により早い所遅い所があるので平等になるように。)
18. 正直、掛川と合併してから「いい事ない!住みにくくなった!」と聞きます。もっと旧大東・大須賀の住人を大事にしてほしいと思います。掛川中心部の事ばかりでなく大東・大須賀の海側、山側まで平等でお願いします。
19. 南郷地区学習センターの建設を早期にお願いします。
20. 市行政は末端市民の安全・安心が主たる仕事と考えられますが、現状は少し違っていると思います。専門知識が全く無く配置されているようでは安心・安全にはほど遠いです。専門知識の勉強をお願いします。
21. 近くの大学を生涯教育に活用する。市長公約の医大設置を実現してほしい。
22. 市民のための政治といっても、自分みたく市政を知らない人が大勢いるので、もっと市民に伝えてほしい。市議会に若者を呼ぶなど、たくさんの意見を集めてほしい。若者の政治離れ解消が課題である。
23. 市ホームページで投稿しても回答が無い。市民の声を聞き回答してほしい。
24. 掛川市の経済の詳細(予算・市の現状等)または市の福祉、医療について特に関心を持っているので広く知らせていただきたい。
25. 中央政治においても市政においても無駄が多すぎる。市議会議員の大幅な削減。市民サービスというのなら、市役所窓口業務全般を土日祝日も行うべき。
26. 固定資産台帳の縦覧など月～金までしか対応していただけないものについて、土日祝も行ってほしい。
27. 市役所窓口業務を月2回程度の割合で休日にもやってくれれば大変良い。

- 28.市職員の対応と印象が悪かった。よほどのことがなければ行きたくない。
- 29.市職員が業務で知り得た個人情報や家族に話し、それを外で話している場に居合わせたことがあるが、守秘義務違反であり、厳しく処分されるべき。
- 30.スポーツ推進ということで作られた「さんりーな」も、定員オーバーで抽選というものがあり、入りたくても入れない状況です。人気のある種目は教室を増やすなどして市民が参加しやすい状況にしてほしい。
- 31.さんりーなの使用料金が会員制の頃と比べ高くなり利用しづらくなったので、もう少し安くしてほしい。
- 32.スポーツ振興策の充実。陸上競技場の早期建設。大会運営費の明朗会計等開かれた明るい体育協会に。
- 33.陸上競技場まではいきませんが、公園内に400mトラックがあれば良いと思います。そうすれば小・中学生の競技向上などに繋がります。
- 34.地区の草刈り作業について高齢者は機械の操作ができず、大変に危険な作業ですので良い解決方法を出してください。